

平成 21 年 3 月 12 日

各 位

会 社 名 大 研 医 器 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 田 圭 一  
(コード番号：7775 東証二部)  
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 経 営 管 理 部 長 大 浜 正 彦  
( TEL. 06 6231 9901 )

### 東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 21 年 3 月 12 日に株式会社東京証券取引所「市場第二部」に上場いたしました。今後ともなお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

上場に伴い、当社の最近の決算情報等につきまして、別添のとおりお知らせいたします。

以 上

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成 21年 3月 12日

上場会社名 大研医器株式会社

上場取引所 東証二部

コード番号

URL <http://www.daiken-iki.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山田 圭一

問合せ先責任者(役職名) 常務取締役経営管理部長

(氏名) 大浜 正彦

TEL (06)6231-9901

四半期報告書提出予定日 平成 年 月 日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日~平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
21年3月期第3四半期	3,936	646	624	395
20年3月期第3四半期				

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	139 61	
20年3月期第3四半期		

(注)当社は、平成21年3月期より第3四半期財務諸表を作成しているため、平成20年3月期第3四半期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	6,813	2,475	36.3	874 71
20年3月期	6,391	2,130	33.3	752 90

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 2,475百万円 20年3月期 2,130百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期				17 00	17 00
21年3月期(予想)				22 00	22 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日~平成21年3月31日)

(%表示は対前年増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	5,150 111.8	695 131.5	610 123.5	384 121.0	133 80

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
[(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）  
会計基準等の改正に伴う変更 : 有  
以外の変更 : 無  
[(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (3) 発行済株式数（普通株式）
- |                   |             |            |             |            |
|-------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 21年3月期第3四半期 | 3,230,000株 | 20年3月期      | 3,230,000株 |
| 期末自己株式数           | 21年3月期第3四半期 | 400,460株   | 20年3月期      | 400,460株   |
| 期中平均株式数（四半期累計期間）  | 21年3月期第3四半期 | 2,829,540株 | 20年3月期第3四半期 | 株          |

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱による株安や急激な円高などにより、国内では製造業や不動産関連業を中心に企業収益が急速に悪化し、失業率のアップや信用収縮に伴う倒産の増加など、景気の減速がかつてないスピードで進んでまいりました。

医療機器業界を取り巻く事業環境は、国の医療費抑制政策が進められ、さらに海外製品との競争もより厳しさを増してきており、引き続き業界を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社といたしましては、株式公開を視野に、高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、ユーザーと密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに高度先進医療分野への開発活動の強化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,936百万円、営業利益は646百万円、経常利益は624百万円、四半期純利益は395百万円となりました。

## 当第3四半期会計期間の経営成績の分析

## 売上高

当第3四半期累計期間の売上高は、主力のフィットフィックス関連及びシリンジェクター関連が好調に推移したこと等により、3,936百万円となりました。フィットフィックス関連ではキューインポットが販促効果により好調に推移し、シリンジェクター関連では特定医療保険材料であるP C Aセットの好調が持続したことが主な要因であります。

## 売上総利益

売上原価につきましては、自主回収等のコスト増の対策として品質リスク対策を施したこと等により原価率が改善し、売上総利益は1,975百万円となりました。

## 営業利益

業容拡大による人件費及び減価償却費等の固定費の増加、売上増にともなう荷造運賃の増加等があったものの、その他の販売費及び一般管理費が概ね低く抑えられたことにより、営業利益は646百万円となりました。

## 経常利益

金利の上昇により利息費用が増加したこと等により、経常利益は624百万円となりました。

## 四半期純利益

固定資産除却損2百万円があり、税引前四半期純利益は622百万円となりました。また法人税等負担額が227百万円となり、四半期純利益は395百万円となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債及び純資産の状況

## 資産

流動資産は前事業年度に比べて、389百万円増加し3,750百万円となりました。これは、主として現金及び預金が79百万円増加したことや、受取手形及び売掛金が270百万円増加したことによるもの

です。

固定資産は前事業年度に比べて、32百万円増加し3,062百万円となりました。これは、税制改正による耐用年数の短縮により既存資産の減価償却費が増加したものの、販売管理システム、財務会計システムの導入に伴うソフトウェア等の取得を行ったことなどによるものです。

#### 負債

流動負債は前事業年度に比べて、232百万円増加し2,898百万円となりました。これは、主として短期借入金500百万円増加、未払費用が39百万円増加したものの、一年以内返済予定の長期借入金461百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は前事業年度に比べて、155百万円減少し1,439百万円となりました。これは、主として長期借入金179百万円減少したことなどによるものです。

#### 純資産

純資産合計は前事業年度に比べて、344百万円増加し2,475百万円となりました。これは、主として利益剰余金が346百万円増加したことなどによるものです。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前事業年度末に比べて79百万円増加し1,026百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により取得した資金は382百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益622百万円及び減価償却費125百万円がキャッシュ・フローに貢献したものの、売上の増加に伴う売上債権が271百万円増加したことなどによるものです。

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は113百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が70百万円、無形固定資産の取得による支出が48百万円あったことなどによるものです。

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は189百万円となりました。これは、短期借入金500百万円の増加及び長期借入金による収入500百万円がありましたが、長期借入金を1,140百万円返済し、配当金48百万円の支払いがあったことによるものです。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間において、概ね当初予定通り推移しており、平成21年3月期の業績予想に変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)における当社の業績見通しは、次のとおりであります。

## 【単体】

(単位：百万円・%)

項目	平成21年3月期(計画)			平成20年3月期 (実績)		平成21年3月期 第3四半期累計期間 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売上高	5,150	100.0	111.8	4,608	100.0	3,936	100.0
営業利益	695	13.5	131.5	528	11.5	646	16.4
経常利益	610	11.9	123.5	494	10.8	624	15.9
当期(四半期)純利益	384	7.5	121.0	317	6.9	395	10.0
1株当たり当期 (四半期)純利益	133.80円			114.28円		139.61円	
1株当たり配当金	22.00円			17.00円		円	

(注) 1. 当社には子会社がありませんので、連結財務諸表を作成しておりません。

2. 平成20年3月期及び平成21年3月期第3四半期累計期間の1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出し、平成21年3月期の1株当たり当期純利益は公募株式数を含めた予定期中平均発行済株式数2,870,635株(自己株式を減じ、潜在株式は考慮しない)により算出しております。

3. 平成21年3月期(計画)には、平成21年3月期第4四半期会計期間に発生する、営業外費用の新株発行費償却11百万円及び公開関連費用42百万円を見込んでおります。

## 4. その他

## (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

## 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

## 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

## 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

## (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期会計期間から適用し、評価基準については、総平均法による原価法から総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、この変更による営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。

## 5. 【四半期財務諸表】

## (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,026,531	946,894
受取手形及び売掛金	1,891,566	1,621,237
製品	311,398	346,502
仕掛品	98,759	81,062
原材料	289,244	271,317
繰延税金資産	54,383	54,383
その他	79,662	40,432
貸倒引当金	1,000	1,000
流動資産合計	3,750,546	3,360,831
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	892,927	922,510
土地	1,197,677	1,197,677
その他	512,682	485,568
有形固定資産合計	2,603,286	2,605,756
<b>無形固定資産</b>		
無形固定資産	86,935	43,903
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	18,421	22,245
繰延税金資産	236,192	234,643
その他	144,247	149,705
貸倒引当金	26,432	25,700
投資その他の資産合計	372,428	380,894
固定資産合計	3,062,651	3,030,554
資産合計	6,813,197	6,391,385



(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	519,560	487,216
短期借入金	1,000,000	500,000
一年以内返済予定の長期借入金	885,146	1,347,072
未払法人税等	146,103	99,241
未払費用	162,051	122,644
その他	185,739	110,229
<b>流動負債合計</b>	<b>2,898,601</b>	<b>2,666,404</b>
<b>固定負債</b>		
社債	100,000	100,000
長期借入金	845,642	1,024,653
退職給付引当金	52,342	47,741
役員退職慰労引当金	429,708	410,374
その他	11,865	11,838
<b>固定負債合計</b>	<b>1,439,557</b>	<b>1,594,607</b>
<b>負債合計</b>	<b>4,338,158</b>	<b>4,261,011</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	95,000	95,000
資本剰余金	12,862	12,862
利益剰余金	2,558,439	2,211,498
自己株式	193,742	193,742
<b>株主資本合計</b>	<b>2,472,558</b>	<b>2,125,618</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	2,479	4,755
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>2,479</b>	<b>4,755</b>
<b>純資産合計</b>	<b>2,475,038</b>	<b>2,130,373</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>6,813,197</b>	<b>6,391,385</b>

## (2) 【四半期損益計算書】

## 【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	3,936,994
売上原価	1,961,917
売上総利益	1,975,076
販売費及び一般管理費	1,328,874
営業利益	646,202
営業外収益	
受取利息	816
受取配当金	140
企業誘致奨励金	10,000
その他	2,964
営業外収益合計	13,920
営業外費用	
支払利息	25,567
その他	9,945
営業外費用合計	35,513
経常利益	624,609
特別利益	
固定資産売却益	1,088
特別利益合計	1,088
特別損失	
固定資産除却損	2,196
固定資産売却損	1,386
特別損失合計	3,583
税引前四半期純利益	622,114
法人税等	227,071
四半期純利益	395,042

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	622,114
減価償却費	125,124
貸倒引当金の増減額(は減少)	732
退職給付引当金の増減額(は減少)	4,601
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	19,333
受取利息及び受取配当金	956
支払利息	25,567
固定資産売却益	1,088
固定資産除却損	2,196
固定資産売却損	1,386
売上債権の増減額(は増加)	271,060
たな卸資産の増減額(は増加)	520
仕入債務の増減額(は減少)	29,969
未払金の増減額(は減少)	4,120
未払費用の増減額(は減少)	40,510
その他	5,463
小計	588,327
利息及び配当金の受取額	831
利息の支払額	26,130
法人税等の支払額	180,560
営業活動によるキャッシュ・フロー	382,467
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	70,787
有形固定資産の売却による収入	2,045
無形固定資産の取得による支出	48,662
保証金の差入による支出	200
その他	3,812
投資活動によるキャッシュ・フロー	113,791
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(は減少)	500,000
長期借入れによる収入	500,000
長期借入金の返済による支出	1,140,937
配当金の支払額	48,102
財務活動によるキャッシュ・フロー	189,039
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	79,636
現金及び現金同等物の期首残高	946,894
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,026,531

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前年度四半期に係る財務諸表等

(要約)四半期損益計算書

当社は、平成21年3月期より第3四半期財務諸表を作成しているため、記載しておりません。

(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

当社は、平成21年3月期より第3四半期財務諸表を作成しているため、記載しておりません。

## 6. その他の情報

## 生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績を製品群別に示すと、次のとおりであります。

製品群	生産高(千円)	前年同期比(%)
フィットフィックス関連	988,347	
シリンジェクター関連	550,324	
電動ポンプ関連	55,914	
手洗い設備関連	228,174	
その他	129,730	
合計	1,952,492	

(注) 1 金額は、製造原価により算定しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 当社は、平成21年3月期より第3四半期財務諸表を作成しているため、前年同期比は記載しておりません。

## (2) 受注実績

当社は、見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

## (3) 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を製品群別に示すと、次のとおりであります。

製品群	販売高(千円)	前年同期比(%)
フィットフィックス関連	2,112,797	
シリンジェクター関連	1,024,401	
電動ポンプ関連	78,404	
手洗い設備関連	509,413	
その他	211,977	
合計	3,936,994	

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 当社は、平成21年3月期より第3四半期財務諸表を作成しているため、前年同期比は記載しておりません。